

低血圧治療剤

処方箋医薬品*

日本標準商品分類番号

87216

*ミドドリン塩酸塩錠2mg「サワイ」

MIDODRINE HYDROCHLORIDE

ミドドリン塩酸塩錠

*承認番号	22500AMX01845000
薬価収載	2014年6月
販売開始	1997年7月

貯法：室温保存
開封後は湿気を避けて保存すること
使用期限：外箱に表示

※注意—医師等の処方箋により使用すること

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- 1) 甲状腺機能亢進症の患者〔甲状腺機能亢進症の患者は、ノルアドレナリン等と類似の作用を持つ交感神経刺激薬により過度な反応を起こす可能性が知られている。本剤は、薬理学的にこれらの薬剤と同様な反応を起こすおそれがある。〕
- 2) 褐色細胞腫の患者〔褐色細胞腫の患者は、カテコールアミンの過剰放出があり、本剤が病態を悪化させるおそれがある。〕


【組成・性状】

・組成

ミドドリン塩酸塩錠2mg「サワイ」は、1錠中にミドドリン塩酸塩2mgを含有する。

添加物として、クロスカルメロースNa、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、ステアリン酸Mg、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ピロ亜硫酸Na、リン酸水素Caを含有する。

・製剤の性状

剤形	外形 直径(mm)・重量(mg)・厚さ(mm)	性状
素錠	 6.0 約95 3.1 [識別コード：SW 773]	白色

【効能・効果】

本態性低血圧、起立性低血圧

【用法・用量】

成人にはミドドリン塩酸塩として、通常1日4mgを2回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減する。ただし、重症の場合は1日8mgまで増量できる。

小児にはミドドリン塩酸塩として、通常1日4mgを2回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日最高量は6mgとする。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- 1) 重篤な心臓障害のある患者〔本剤は静脈還流量増加作用を介した心臓への作用を有しているため、静脈還流を治療上抑制している患者等に投与する場合、病態を悪化させるおそれがある。〕
- 2) 重篤な血管障害のある患者〔閉塞性動脈硬化症等の重篤な血管狭窄のある患者に投与する場合、病態を悪化させるおそれがある。〕
- 3) 重篤な腎障害のある患者〔消失半減期の延長により血中濃度が持続するので、投与間隔をあげて使用する。〕

- 4) 高血圧の患者〔基礎疾患として高血圧がある起立性低血圧患者に使用する場合、過度の血圧上昇が起こるおそれがある。〕
- 5) 前立腺肥大に伴う排尿困難のある患者〔本剤が膀胱頸部のα受容体に作用するため、排尿困難を悪化させるおそれがある。〕

2. 重要な基本的注意

外国において、神経原性起立性低血圧に対する二重盲検試験が実施された。臥位血圧が過度に上昇した症例が報告されているので注意すること。動悸、頭痛などの症状は臥位血圧の上昇による場合が考えられる。臥位血圧の上昇は本剤の減量、または頭部を高くして寝ることで調節できるが、臥位高血圧が続く場合には投与を中止すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

下記のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて、適切な処置を行うこと。

	頻度不明
精神神経系	眠気、いらいら感
消化器	悪心、腹痛、嘔吐、口内炎、腹部膨満感、便秘、下痢
循環器	高血圧、動悸、心室性期外収縮
中枢神経系	頭痛、めまい
皮膚 ^(注)	発疹、立毛感、痒痒感、蕁麻疹、発赤
肝臓	肝機能障害、ALT(GPT)上昇、AST(GOT)上昇、ALP上昇
その他	ほてり感、悪寒、倦怠感、頻尿、発汗亢進、肩こり、異常感覚、排尿困難

注) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

- 1) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕
- 2) 授乳中の婦人には本剤投与中は授乳を避けさせること。〔動物実験(ラット)で乳汁中へ移行することが報告されている。〕

6. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている)

【薬物動態】

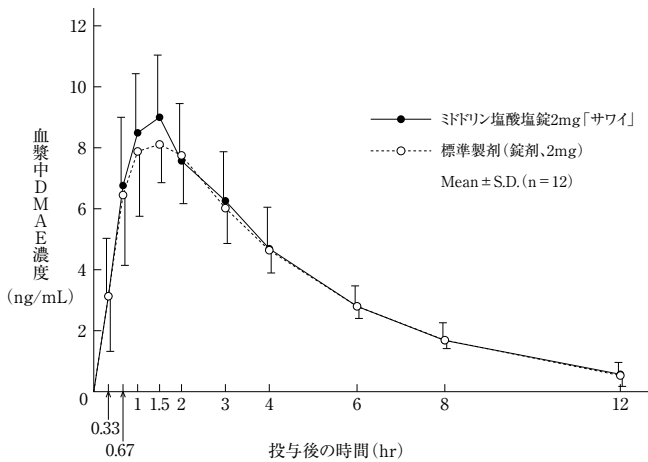
1. 生物学的同等性試験

ミドドリン塩酸塩錠2mg「サワイ」と標準製剤を健康成人男子にそれぞれ1錠(ミドドリン塩酸塩として2mg)空腹時単回経口投与(クロスオーバー法)し、活性代謝物であるジメトキシフェニルアミノエタノール(DMAE)の血漿中濃度を測定した。得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について統計解析を行った結果、両剤の生物学的同等性が確認された。¹⁾

各製剤1錠投与時の薬物動態パラメータ

	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	T1/2 (hr)	AUC0-12hr (ng·hr/mL)
ミドドリン塩酸塩錠 2mg「サワイ」	9.57±2.04	1.3±0.4	2.7±0.6	42.11±8.78
標準製剤 (錠剤、2mg)	8.91±1.31	1.3±0.5	3.0±0.4	41.07±5.44

(Mean±S.D.)



血漿中濃度ならびにAUC、Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

2. 溶出挙動

本製剤は、日本薬局方外医薬品規格第3部に定められた規格に適合していることが確認されている。

【薬効薬理】

1. 本剤は活性本体であるジメトキシフェニルアミノエタノール(DMAE)をグリシンで修飾したプロドラッグであり、良好な吸収と緩和で持続的な作用を示す。
2. 経口投与後、肝、腎、空腸、血球など種々の臓器で脱グリシン化されて活性本体となり、交感神経 α_1 -受容体を直接刺激し細動脈を収縮して全末梢血管抵抗を増大することにより血圧を上昇させる。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ミドドリン塩酸塩(Midodrine Hydrochloride)

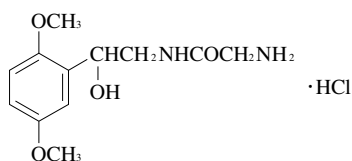
化学名：(±)-2-Amino-N-(2,5-dimethoxy- β -hydroxyphenethyl)acetamide hydrochloride

分子式：C₁₂H₁₈N₂O₄ · HCl

分子量：290.74

融点：約200℃(分解)

構造式：



性状：ミドドリン塩酸塩は白色の結晶性の粉末である。ギ酸に溶けやすく、水にやや溶けやすく、エタノール(95)に溶けにくく、アセトニトリルにほとんど溶けない。水溶液(1→25)は旋光性を示さない。

【取扱い上の注意】

・安定性試験

PTP包装(PTPシートをアルミピロー包装)及びバラ包装(アルミ袋)したものをを用いた長期保存試験(室温、3年間)の結果、通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。²⁾

**【包装】

PTP：100錠(10錠×10)

バラ：1,000錠

【主要文献及び文献請求先】

・主要文献

1) 沢井製薬(株)社内資料 [生物学的同等性試験]

2) 沢井製薬(株)社内資料 [安定性試験]

・文献請求先 [主要文献(社内資料を含む)は下記にご請求下さい]

沢井製薬株式会社 医薬品情報センター

〒532-0003 大阪市淀川区宮原5丁目2-30

TEL：0120-381-999 FAX：06-6394-7355

製造販売元

沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-30

Z11 A150602

① ② ③ ④ A